



～令和元年度第1回コア会議が開催されました～

令和元年8月27日（火）に「公園マネジメント会議 令和元年度第1回コア会議」が、地球市民交流センターにて開催され、有効会員数25団体に対し、出席が15団体となり、コア会議が成立しました。

公園マネジメント会議の意義を再確認すると共に、公園マネジメント会議の仕組みを現状の運営状況と照らし合わせ、今年度解決する課題について、活発な意見交換が行われました。



前回のふりかえり

- 第1回総会のふりかえりで、年間ワークショップの議題や年間を通して話し合うための共通認識について事務局より報告がありました。

公園マネジメント会議の意義「はじめに」

- 公園マネジメント会議の発足の経緯や意義、利用者目線での管理運営について共有し、議論しました。

～公園マネジメント会議の意義の再確認～

愛・地球博の成果である「市民参加・市民協働」から生まれたNPOなどの活動団体、民間企業、大学、県や公園管理事務所が、1つの机に集まり、会員自らが「考え・話し合い・実践する」ことで、行政が行う公園の管理運営を超えて、「公園利用者の満足度等の向上」を目指すもの。

～利用者目線での公園の管理運営～

- 公園利用者には大きく下記の3種類がいて、これらの利用者は、公園に期待することが異なっている。
 - ① 公園に遊びに来る人
 - ② 公園に活動しに来る人
 - ③ 公園を使ってイベントなどを企画する人
- 多様な立場の会員からなる公園マネジメント会議だからこそ、多様な利用者の目線で、課題解決に向けての提案、実行することで、満足度向上を図ることができる。

<意見交換>

- 公園利用者③は利用者とは言えないのではないか。企画する人も利用者と呼べるのはどうかと思う。
- 利用者の定義は基本的には概ねよい。③を利用者として加えるのは賛成である。ただ、どういう基準で活動とイベントを分けるのか、②と③の違いが曖昧である。
- ②と③は利用して、それを活用する…活用に変わってはどうか。
- イベント企画者は当然プログラム提供者をたくさん抱えているので、②と③を分けるのではなく、不可分の関係ではないか。
- ③の利用者でも、マネジメント会議から発生した公園にとって有意義なイベントもあれば、全く関係ないイベントもあり、一括りにはできない。



■全体共有

- 公園マネジメント会議の発足の経緯、意義については、再確認し、共有した。
- マネジメント会議の発足経緯や意義は、ルールブックを作成した当時は、会員が共有していた。しかし、10年が経過し、新しい会員を含め皆が振り返られるよう、ルールブックの「はじめに」に追加する。
- 公園利用者を3種類に定義することについて、「利用者」以外に「活用者」とするなど表現を改める。



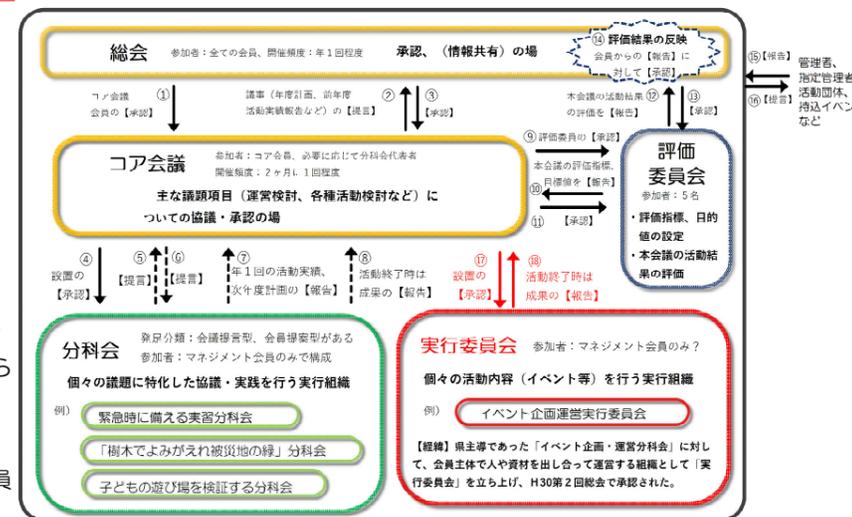
用語の定義「会議の仕組み」

- 第1回総会で「用語の定義をする必要がある。」との意見を受け、運営ルールブックの内容を凶解し、内容を再度確認しました。さらに、運営ルールブックと現状の運営状況を比較し、議論しました。

現状の運営状況(右図)は、運営ルールブックを作成した発足から10年が経過して以下の違いが出ている。

- 分科会からの活動報告がなされていない。
- ルールブックに記載の無い実行委員会が立ち上がった。また、パートナー制度と公園マネジメント会議の関係について確認を行った。

現状の運営状況



<意見交換>

- 会議の運用の仕組みを凶解することで、それぞれの役割が見えやすくなった。
- 各分科会が、どのような活動をしているのか情報が無く分からない。また、分科会の廃止ルールが必要だという声も、過去からある。
- イベント企画運営実行委員会は、昨年度の会議で実行委員会形式として承認され試行的にやっている。
- 「万博サンパフェスティバル」分科会は、実行委員会を立ち上げている。自主独立で、出店者から参加料をもらい運営するなど、独自のスタイルでつくりあげてきた。
- 分科会は、公園の問題を議論して、実践を行うもののため、イベント等の実践が主な内容な活動は、実行委員会形式の方がなじみがよい。
- マネジメント会議としては、分科会での議論をしっかりやっていく必要がある。

■結論

- 分科会は、活動報告などルールブックの運用がされていないため、活動していない分科会の廃止ルールも含め、次回以降の議論とする。
- 今年度議論する「会議の仕組み」は、議論の結果をルールブックに反映させる方向で承認された。
- 現状の「実行委員会」の立ち上げを受け、「分科会」と「実行委員会」の役割を議論し、それぞれの仕組みを整理する。

課題と運営ルールブックの整理・充実

※本日の議論の中で、今後解決する課題がいろいろと見えてきたので、今後の対応を考えていきたい。
※公園マネジメント会議の仕組みに対する課題の抽出は、どう解決するかで運営ルールブックの充実にもつながるので、本日の議論以外に課題等あれば、事務局までご連絡いただきたい。次回の企画ミーティングの中で、お寄せいただいたご意見を踏まえながら議論させていただきたい。

会員情報（知っていましたか？〇〇）

- 株式会社 山水より「鯨レレ万博」の紹介がありました。

株式会社 山水

- 2014年から愛知県初ウクレレフェスティバル「鯨レレ万博」として、毎年1回夏に、モリコロパークで定期開催している。
- ウクレレ演奏はハワイアンに特化しない、無限のジャンルを演奏することができ、年齢性別を問わない、どんな方でも楽しむことができるのが魅力である。
- 今後は、鯨レレを通して、五感を意識するような豊かな感性を育て、魅力ある公園づくりをしていきたい。



お問い合わせ先

公園マネジメント会議 HP
http://www.pref.aichi.jp/koen/AI_CHIKYU/ParkManagement/management/HP/

愛知県都市整備局都市基盤部
公園緑地課(協働グループ) 担当: 嶋田
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL: 052-954-6491 FAX: 052-961-5022

公益財団法人愛知県都市整備協会
愛・地球博記念公園管理事務所 担当: 井上
〒480-1342 長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1
TEL: 0561-64-1130 FAX: 0561-61-2150